

PRESS RELEASE (2026/10/29)**九州大学とサイファ・コアがバングラデシュでの予防医療実証に向けた準備を推進
10月28日のJETRO経済フォーラムで、バングラデシュ首相ご臨席のもと
「A Secure Digital Platform for Preventive Care」構想を紹介**

九州大学とサイファ・コア株式会社（Cipher Core）は、2026年9月に共同研究契約を締結し、現在、「Healthy Bangladesh」構想のもと、バングラデシュにおける予防医療のパイロット実証に向けた準備を進めています。

本事業は、2026年10月28日に東京で開催された日本貿易振興機構（JETRO）の経済フォーラムにおいて、バングラデシュ首相ご臨席のもと、ヘルスケア分野における日・バングラデシュ協力の取り組みとして紹介されました。

本構想は、予防医療のために設計されたデジタルシステム「ポータブルヘルスクリニックシステム」を活用し、予防医療へのアクセス向上を目指すものです。大学院システム情報科学研究院（ISEE）、九州大学病院、大学院医学研究院、アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）、データ駆動イノベーション推進本部（DDIn2）をはじめとする学内の複数部局が参画し、非感染性疾患（NCDs）および母子保健（MCH）を対象に17年間にわたり取り組んできた、ヘルスケアDXに関する学際的研究の成果を基盤としています。

これまで九州大学、Cipher Core、バングラデシュ保健家族福祉省（MoHFW）の関係者が、ダッカおよび東京で約5回の協議を重ねてきました。

協議では、予防医療の基本構想やサービス提供計画を説明するとともに、同省の要請に応じてポータブルヘルスクリニックシステムの実演を行いました。これらの活動を通じて、実施方法や必要な条件について検討を進めています。

MoHFWを含む三者間の正式な契約・合意文書は、現在、締結に向けて準備中です。実証の開始に当たっては、必要な合意、関係する承認および現地の受入準備を整えてまいります。

今後の展開

九州大学とCipher Coreは、MoHFWとの協議を継続するとともに、既に連携への関心を示している日本の医療機器メーカーとの対話を進めます。実施体制の具体化と、日本のヘルスケア技術をバングラデシュで活用する機会の創出を目指します。

本構想を通じて、予防医療分野における持続的な日・バングラデシュ協力の基盤づくりに取り組みます。

お問い合わせ先**<事業に関するお問い合わせ>**

九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授 アシル・アハメッド
TEL : 092-802-3632 / Mail : ashir@ait.kyushu-u.ac.jp

<Cipher Coreに関するお問い合わせ>

サイファ・コア株式会社業務執行役員 営業部長 中山博司
TEL : 03-6824-6551 / Mail : info@cipher-core.com